

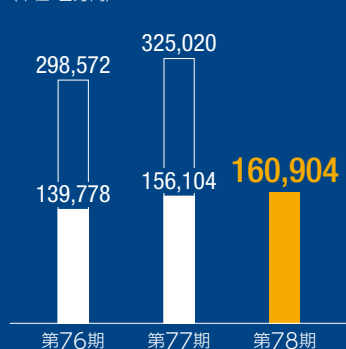
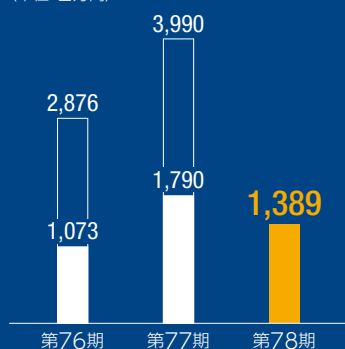
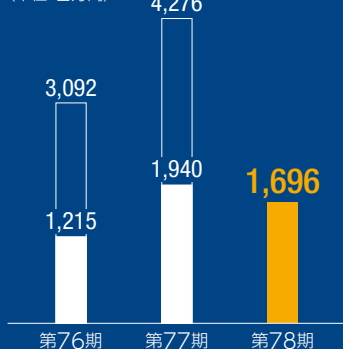
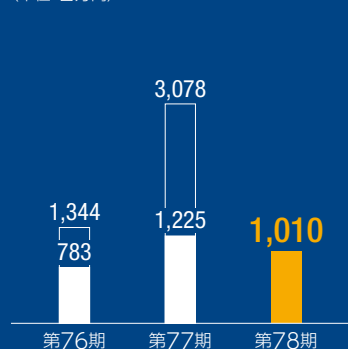
# 第78期中間報告書

2023.4.1～2023.9.30



## [業績ハイライト] 第78期 第2四半期(累計)の業績

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
<b>160,904</b> 百万円 前年同期比 3.1%増 	<b>1,389</b> 百万円 前年同期比 22.4%減 	<b>1,696</b> 百万円 前年同期比 12.6%減 	<b>1,010</b> 百万円 前年同期比 17.5%減 

 ■ 第2四半期(累計) □ 通期  
(単位:百万円)

 ■ 第2四半期(累計) □ 通期  
(単位:百万円)

 ■ 第2四半期(累計) □ 通期  
(単位:百万円)

 ■ 第2四半期(累計) □ 通期  
(単位:百万円)


## 第78期 通期の業績予想

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<b>330,000</b> 百万円 前年同期比 1.5%増 	<b>3,000</b> 百万円 前年同期比 24.8%減 	<b>3,200</b> 百万円 前年同期比 25.2%減 	<b>2,200</b> 百万円 前年同期比 28.5%減 

 WEB  
INFORMATION

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表のページ、動画によるグループ各社の紹介、株主優待品を掲載した株主優待のページなど様々な情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

<https://www.oug.co.jp/ja/index.html>




グループ経営基盤の強化に努めるとともに、  
食文化の発展に貢献し、企業価値を最大化してまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第78期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長 橋 爪 康 至

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが感染症法の「5類」に移行し、経済活動の回復は加速しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、設備投資、生産活動、雇用情勢には持ち直しの動きがみられます。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の上昇等により厳しい状況にあります。また、消費者購買行動では、生活防衛意識の高まりを反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の正常化が進み、外食・宿泊・インバウンド関連需要は回復しつつあるものの、内食関連需要は消費者物価の高止まり等から総じて縮小しつつあります。

また、価格動向については、円安やコスト上昇などを反映して、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は

一般的に上昇し、これに呼応して販売価格も上昇しています。業界環境としては、価格上昇により需要が一般的に伸び悩む中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にあります。

このような環境にあつて、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』(2021年度～2023年度)の最終年度に当たり、当社グループは、引き続きグループ横断的な4つの重点テーマである「鮮魚事業(取引)の拡大」、「加工事業(取引)の拡大」、「エリア戦略の推進」、「海外事業の推進」について、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は160,904百万円(前年同四半期比103.1%)となりました。

損益面では、売上総利益は13,612百万円(前年同四半期比98.2%)となり、営業利益1,389百万円(前年同四半期比77.6%)、経常利益1,696百万円(前年同四半期比87.4%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,010百万円(前年同四半期比82.5%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

●水産物荷受事業

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売が回復傾向にある中、販管費の節減に努めましたが、主要商材の一部に相場下落があり、当該在庫の早期販売を積極的に進めた結果、売上高98,083百万円(前年同四半期比100.5%)、セグメント利益750百万円(前年同四半期比54.1%)となりました。

●市場外水産物卸売事業

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、外食・宿泊関連の販売に加え、インバウンド需要の回復が徐々に進んだことにより、売上高が伸長し、売上総利益率も改善したことにより、売上高63,234百万円(前年同四半期比106.0%)、セグメント利益407百万円(前年同四半期はセグメント損失41百万円)となりました。

●養殖事業

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、総じて販売魚体のサイズが小さく、販売重量が減

少したことに加え、販売価格の低下、餌料等の高騰により、売上高3,397百万円(前年同四半期比82.6%)、セグメント利益153百万円(前年同四半期比30.5%)となりました。

●食品加工事業

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、ホテル・ブライダル向けの販売は回復傾向にあるものの、輸入原料の調達コストが高止まりしていることに加え、米価・副材料等が上昇したこと等により、売上高2,039百万円(前年同四半期比97.4%)、セグメント損失57百万円(前年同四半期はセグメント損失41百万円)となりました。

●物流事業

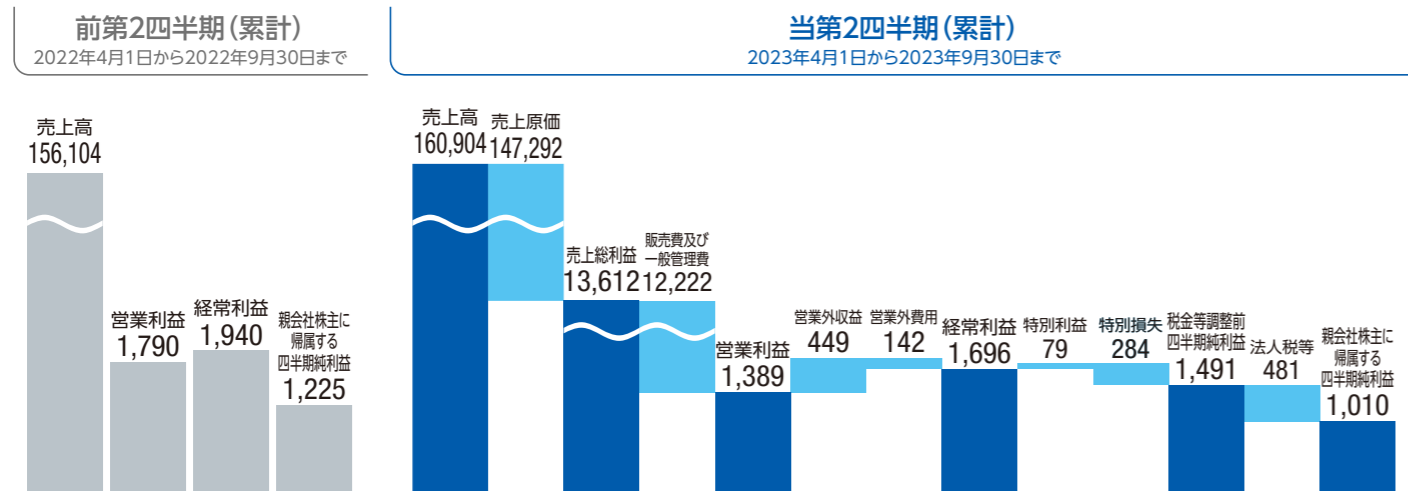
物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、センター業務売上が増加したこと等により、売上高822百万円(前年同四半期比103.0%)、セグメント損失5百万円(前年同四半期はセグメント損失10百万円)となりました。

●その他

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高2,365百万円(前年同四半期比134.6%)、セグメント利益26百万円(前年同四半期はセグメント損失71百万円)となりました。

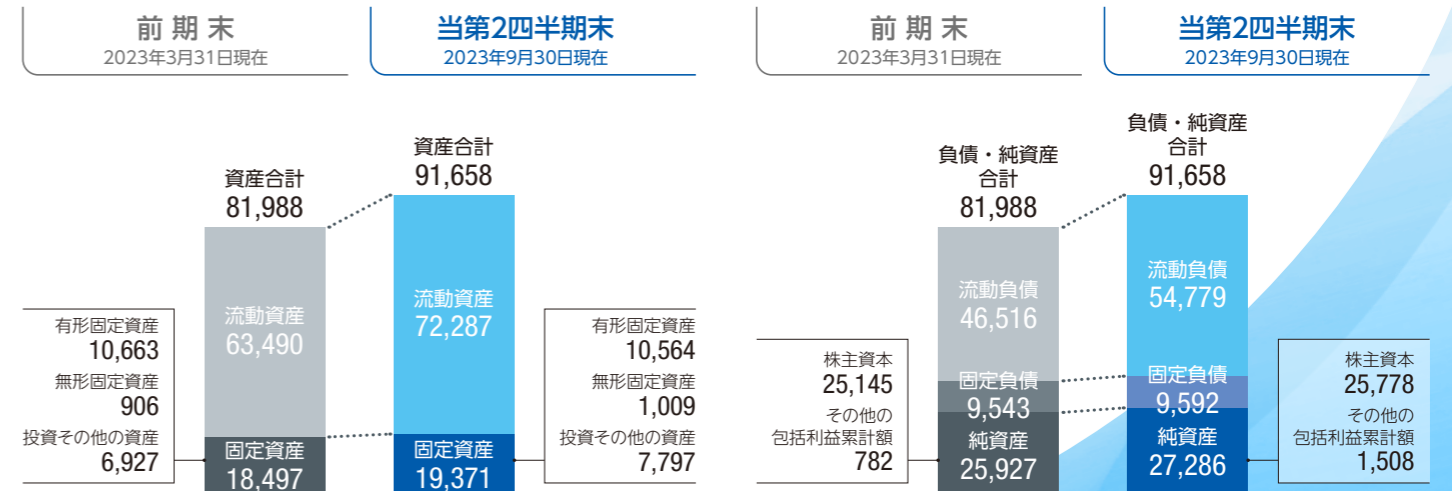
四半期連結財務諸表(要約)

●連結損益計算書のポイント(単位:百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結貸借対照表のポイント(単位:百万円)



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ● 会社概要

(2023年9月30日現在)

社名	OUGホールディングス株式会社
主要な事業内容	定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。
設立	1946年6月12日(創業1947年10月1日)
資本金	6,495百万円
従業員数	連結1,354名 単独25名

## ● 役員 の 体制

(2023年9月30日現在)

取締役	代表取締役社長	橋爪 康至
	代表取締役	中江 一夫
	取締役	岩佐 勇人
	取締役	竹田 誠
	取締役	中迫 猛
	取締役	三浦 正晴 (社外取締役)
	取締役	荻野 義明 (社外取締役)
監査役	常勤監査役	辰 清広
	監査役	和田 徹 (社外監査役)
	監査役	小竹 伸幸 (社外監査役)
	監査役	石川 英機 (社外監査役)
執行役員	常務執行役員	山田 稔
	常務執行役員	中村 耕

## ● 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

○株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
○特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)の上記連絡先の電話(受付時間:土日・祝祭日等を除く平日9:00~17:00)およびインターネット(24時間)でも承っております。  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品 取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス <a href="https://www.oug.co.jp/ja/index.html">https://www.oug.co.jp/ja/index.html</a>

免責条項  
本中間報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。  
実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

## ● 株式の状況

(2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	20,915,900株
発行済株式の総数	5,562,292株
株主数	13,757名

## ● 大株主 (上位10名)

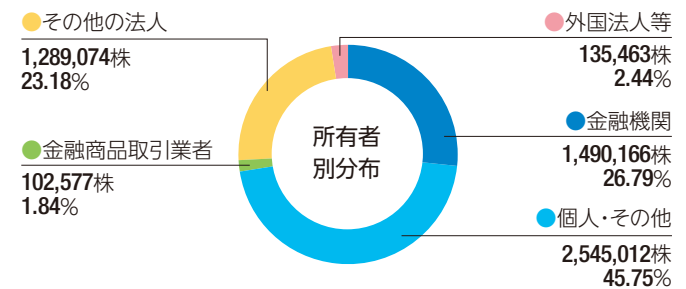
(2023年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	745	13.84
日本生命保険相互会社	265	4.92
農林中央金庫	263	4.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	158	2.94
株式会社りそな銀行	147	2.74
株式会社みずほ銀行	140	2.60
三菱UFJ信託銀行株式会社	121	2.26
丸大食品株式会社	115	2.14
OUGグループ従業員持株会	111	2.08
株式会社丸徳水産	110	2.05

(注) 1. 当社は自己株式を179,368株(失念株式100株を含む)保有しておりますが、上記の大株主(上位10名)からは除いております。  
2. 持株比率は、自己株式(179,368株)を控除して計算しております。

## ● 株式分布状況

(2023年9月30日現在)



株主の皆さまの声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り  
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

# OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田二丁目13番5号 OUG野田ビル5階  
TEL : 06-4804-3031 FAX : 06-4804-3145

